

**市民サロン塾 第8回 平成28年9月12日(月) 13:30~15:30**

**「講話と写経」**

< **心を落ち着けて一心に** >

**講師:住職 横山 亮英 氏**

受講生とスタッフで23名の参加。



講話は日々の出来事についての感じ方でした。皆さんが今日この講座に来たと思われることを来ることができたと思えば、幸いにすると、感じる事が出来ます。

自分の意思では無い、病気、事故、不幸の知らせなどは自分の力が及びません。

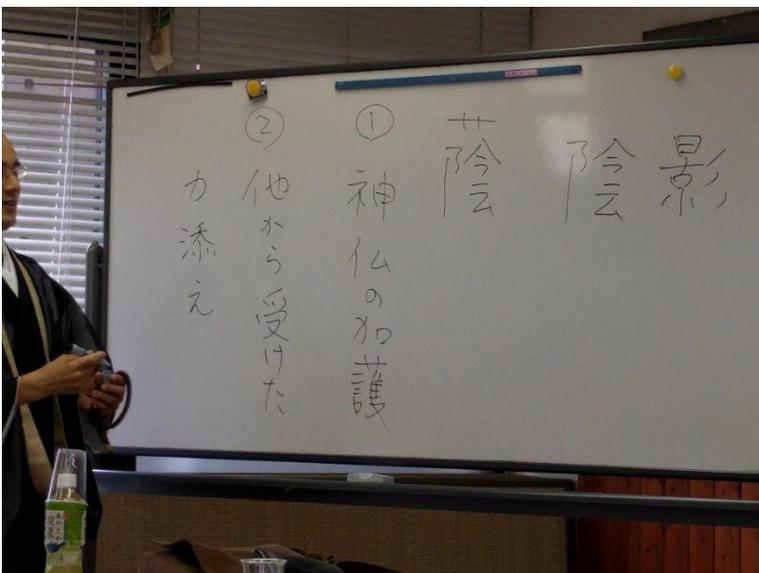
何でも無い事でも、自分の力だけで生じているのでしょうか。

自分以外の力が働いて、支えてくれているとも感じる事が出来ます。

“かげ”の印象は暗いイメージがありますが、蔭、陰、影の字があります。

お蔭さまはどのような時に使いますか。神仏のお蔭 他から受けた力添えなど

喜びごとを祝福された時に“自分が頑張ったから出来た”、“塾に行ったから合格した”と答えるとどうでしょうか。

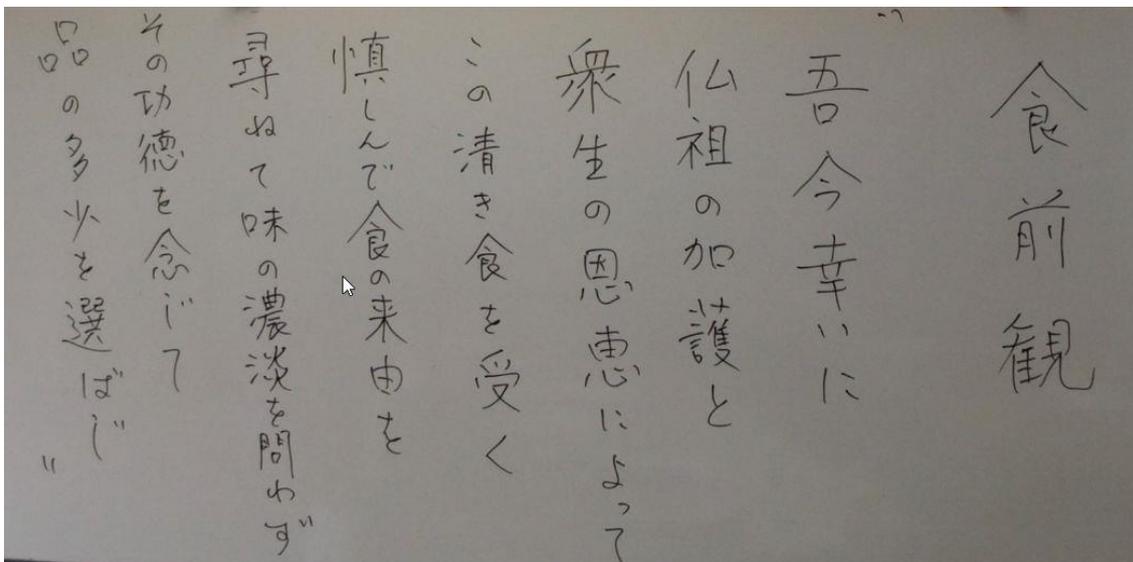


そのような際に“お陰様で・・・”と答えることが多いと思います。  
自分が買った服でも、服作る人のお蔭で買うことができたと思うことも出来ます。

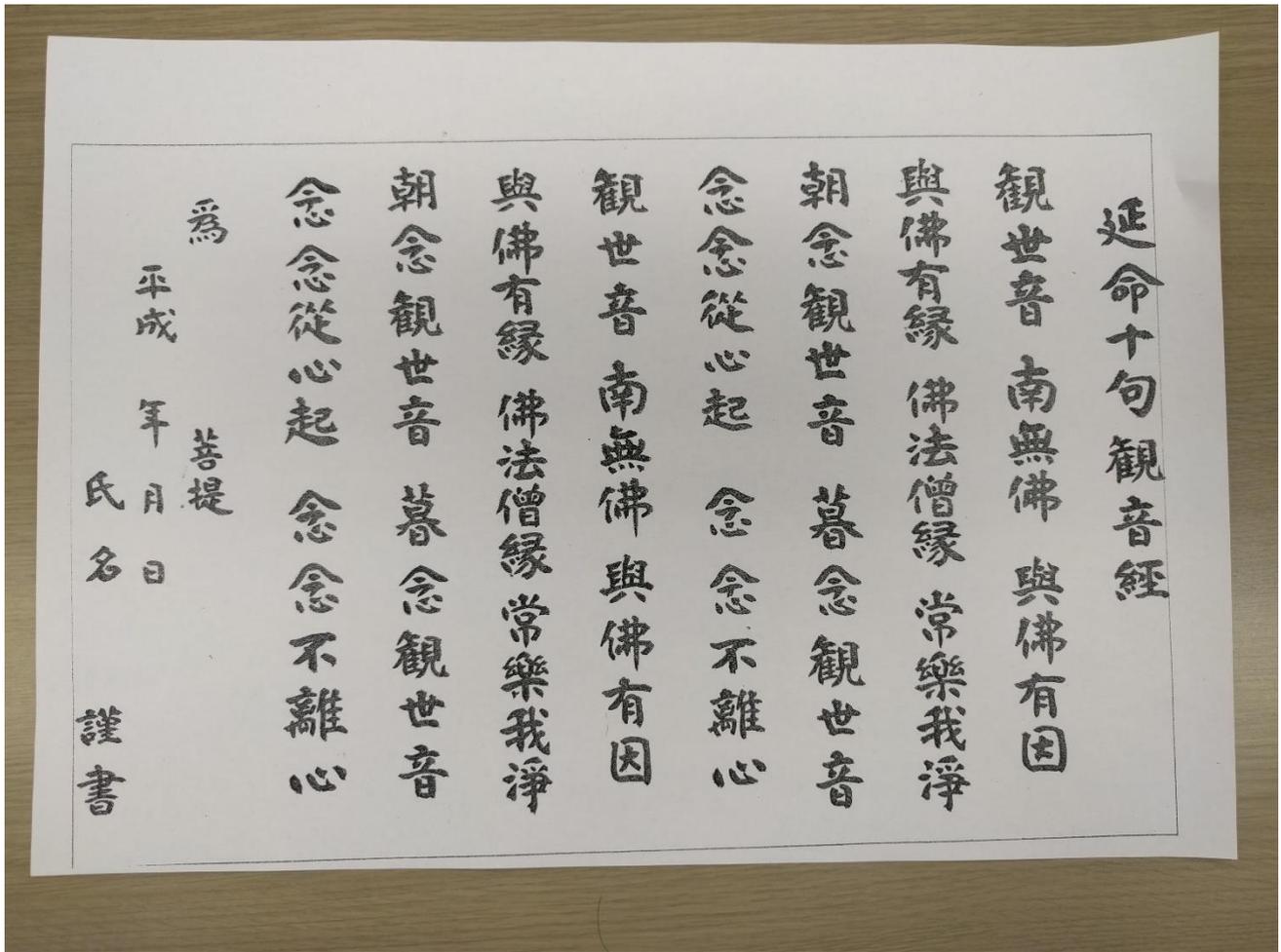
雨が降ったら困る時に念仏を唱えて、なんとか天気が良くなったら、お陰様で感謝することも出来ます。そんなことがあるかと考えるのではなく、お祈りする姿勢は好ましいことです。



- ・ 食事の前に唱える念仏「食前観」をお教えします。  
生きるための食事 - その身体を使って社会のために役立てる。



・本日の写経は「延命十句観音経」です。



観音さまは地藏さまと並んで、「親しみのある同様に皆さんに馴染みの深い仏様です。私たちは近い、昔から信仰してきた証です。

・十句の説明

南無はタイ語のナマステ 興=与 仏と縁があつたきっかけに写経

佛 宝 樂に生きる 悩むことはない

法 宝 おっしゃたこと

僧 宝 伝える

常樂我淨は言葉の世界を超えており、説明できるものではなく、悟ったことです。

(無)常 (苦)樂 (無)我 (垢)淨 と書くとわかり易いでしょう。

後の句は 朝に観世音菩薩を念じる。夕に観世音菩薩を念じる。

この念は心から生起するものであり、この念は心から離れるものではない

皆さん写経をして横山住職に納経としてお預けしました。

静かに写経する時間を縁あって持てたことに感謝し、講座は終了しました。